

令和6年度 商業科「簿記」シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	情報処理 科 1年C組
教科書	新簿記（実教出版）	副教材等	最新段階式 簿記検定問題集3級

1 学習の到達目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を身に付ける。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1編 簿記の基礎	第1章 簿記の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記の意味・目的を明らかにして、記帳の重要性を理解する。 	簿記の基礎について理解できたか。定期考査、小テスト、観察や学習の振り返りで確認する。
5			<ul style="list-style-type: none"> ・簿記の種類、前提条件など簿記のアウトライントを理解し、簿記の学習の心がまえを養う。 ・資産・負債・純資産（資本）の意味を明らかにし、これらの相互関係を理解する。 ・収益・費用の意味を明らかにし、純損益を計算する方法（損益法）を理解する。 ・取引により、資産・負債・資本が増減することを理解する。 ・仕訳の意味を明らかにし、各種の取引の仕訳ができる。 ・仕訳帳の形式・記入法を理解し、記帳することができる。 ・試算表の役割・種類・それぞれの特徴などを明らかにし、その作り方を学習する。 	簿記の取引や記帳について理解できたか。定期考査、小テスト、観察や学習の振り返りで確認する。
6	第2編 取引の記帳（その1）	第4章 取引と勘定 第5章 仕訳と転記 第6章 仕訳帳と総勘定元帳 第7章 試算表 中間考査 第8章 精算表 第9章 決算 第10章 現金・預金などの取引	<ul style="list-style-type: none"> ・精算表の役割を明らかにして、その作り方を学習する。 ・決算の意味・必要性・重要性について理解する。 ・決算手続き全体の流れを理解し、その記帳ができる。（英米式決算法） ・現金に関する記帳方法と現金出納帳の記帳方法について理解する。 ・現金過不足の処理法を理解する。 	考査得点
7		期末考査		考査得点
9	第2編 取引の記帳（その1）	第11章 商品売買の取引	<ul style="list-style-type: none"> ・分記法の復習から3分法による商品売買の記帳方法を理解する。 ・仕入帳・売上帳・商品高帳の役割と記帳方法を明らかにし、その記帳ができる。 ・掛け取引の意味を明らかにし、売掛金勘定と買掛金勘定の記帳方法を理解する。 ・人名勘定の意味を理解する。 ・手形の種類を理解する。 ・売掛金・買掛金・受取手形・支払手形以外の各種の債権・債務について、その記帳方法や違いなどを理解する。 	簿記の3文法について理解できたか。定期考査、小テスト、観察や学習の振り返りで確認する。
10		第12章 掛け取引		
11				
12	第3編 決算（その1）	第13章 手形の取引 第14章 その他の債権・債務の取引 中間考査 第15章 固定資産の取引 第16章 個人企業の資本の取引	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産の意味と種類を明らかにし、固定資産に関する記帳方法を理解する。 ・個人企業における資本の元入れ、引き出 	簿記の決算について理解できたか。定期考査、小テスト、観察や学習の振り返りで確認する。 考査得点

	<p>第 17 章 販売費と一般管理費、税金の取引</p> <p>第 18 章 決算整理（その 1）</p> <p>第 19 章 8 衍精算表</p> <p>第 20 章 帳簿決算</p> <p>期末考査</p>	<p>しなどの記帳方法を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売費及び一般管理費の意味と記帳方法を理解する。 ・個人企業に課せられる税金と消費税の記帳方法を理解する。 ・決算整理の意味とその必要性を理解する。 ・3 分法による商品売買に関する勘定の整理、貸し倒れの見積もり、減価償却の処理法を理解し、その記帳ができる。 ・8 衍精算表の意味を理解し、その作成ができる。 ・帳簿決算の意味とその必要性を理解する。 ・総勘定元帳の締め切りと、繰越試算表・貸借対照表・損益計算書の作成ができる。 		
			考查得点	
1 2 3	<p>第 4 編 会計帳簿と帳簿組織</p> <p>第 5 編 取引の記帳（その 2）</p>	<p>第 22 章 伝票の利用</p> <p>第 24 章 特殊な手形の取引</p> <p>第 25 章 有価証券の取引</p> <p>第 26 章 本支店会計</p> <p>期末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3 伝票を用いた場合の起票や集計方法のルールを理解する。 ・手形の裏書譲渡・割引・書き換え・不渡りの意味を理解し、その記帳方法を身に付ける。 ・営業外受取手形と営業外支払手形の意味を理解し、その記帳方法を身に付ける。 ・有価証券の意味と計算のしかた、買い入れたとき、売却したときの記帳方法を理解する。 ・支店会計の独立の意味を理解する。 	<p>簿記の3 伝票や手形、本支店について理解できたか。定期考査、小テスト、観察や学習の振り返りで確認する。</p>
			考查得点	

3 評価の観点

知識・技術	簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、その仕組みについて学習するとともに、適正な会計処理を行う技術を身につけている。
思考・判断・表現	適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わるものとして、適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	簿記について関心を持ち、適正な会計処理を行うことをめざして主体的に取り組み、会計処理を行う実践的な態度を身につけている。

4 評価の方法

「知識・技術」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

授業を大切にすること。課題や宿題などの提出物は期日を守り提出すること。